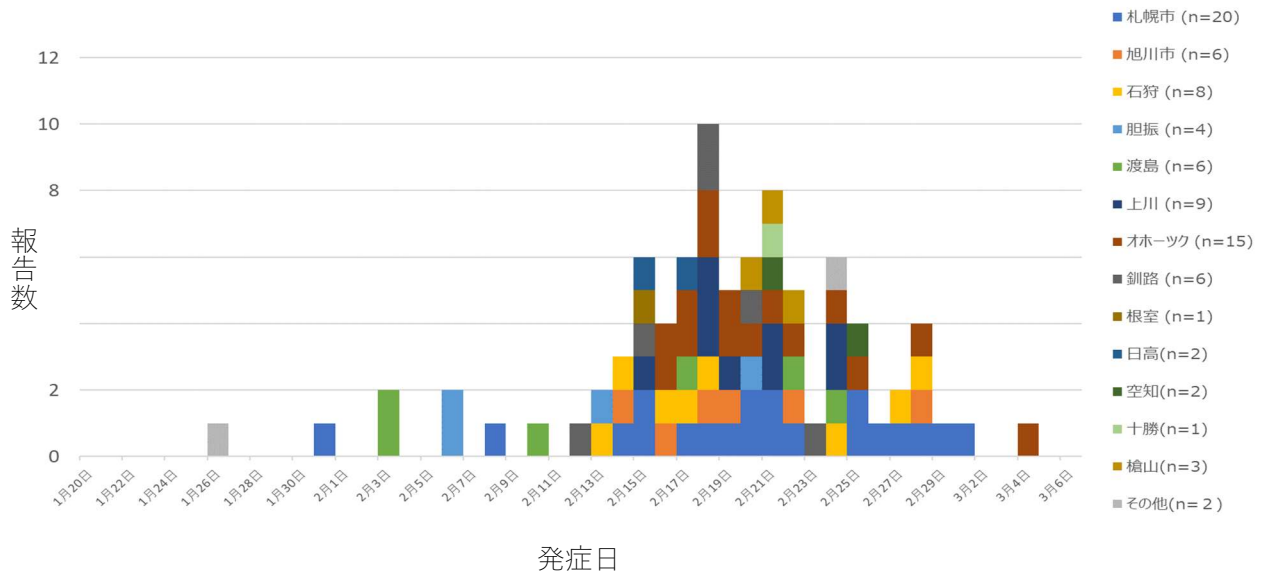


北海道における新型コロナウイルス感染症発生状況  
2020年3月6日 20時現在

新型コロナウイルス感染症は2020年2月1日に感染症法上の指定感染症となった。指定感染症と制定される以前の1月28日に報告された患者1例を含め、3月6日までに北海道内で報告された症例は、計90例となった。無症状2例と詳細不明3例を除く85例の発症日別居住地別の報告数を図1に示す。

図1 新型コロナウイルス感染症居住地（自治体、総合振興局）別 流行曲線（n=85\*）

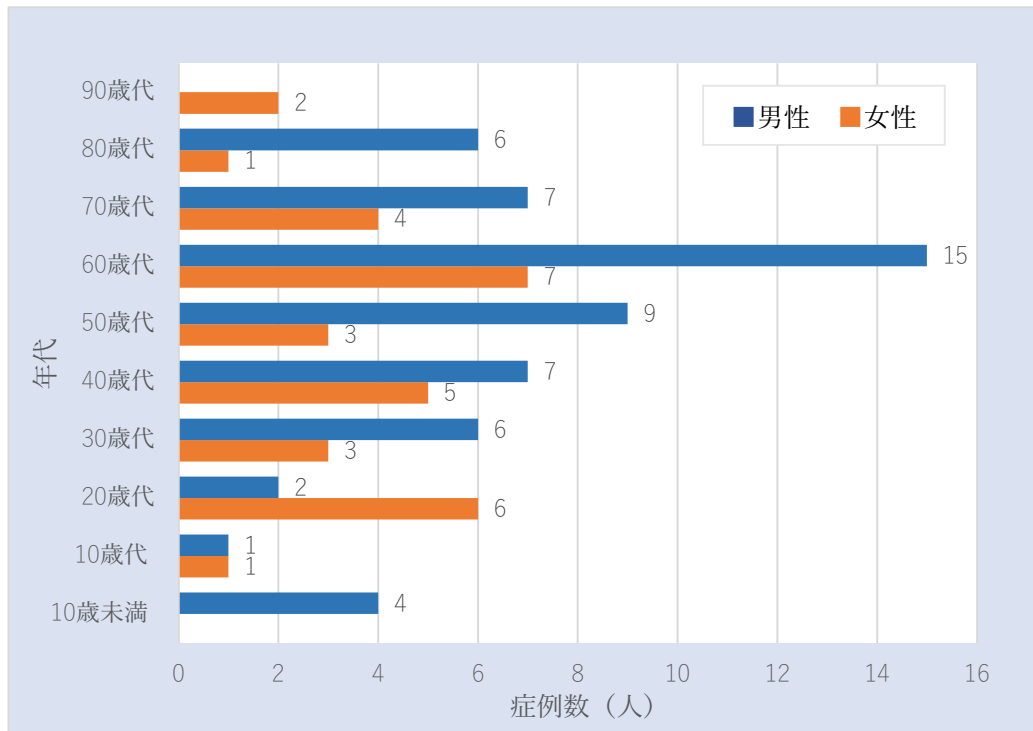


\*無症状の2例（胆振1例、上川1例）、詳細不明の3例（札幌市2例、函館市1例）を除く

症例の居住地は、札幌市22例、オホーツク総合振興局管内15例、上川総合振興局管内10例、石狩振興局管内8例、旭川市6例、渡島総合振興局管内6例、釧路総合振興局管内6例、胆振総合振興局管内5例、檜山振興局管内3例、日高振興局管内2例、空知総合振興局管内2例、函館市1例、根室振興局管内1例、十勝総合振興局管内1例、その他2例であった。

症例の性別は男性が57例（63%）であった（図2）。年齢が判明している89例では、10歳未満から90歳代までの幅広い年齢群から報告されており、10歳未満4例（4%）、10歳代2例（2%）、20歳代8例（9%）、30歳代9例（10%）、40歳代12例（13%）、50歳代12例（13%）、60歳代22例（24%）、70歳代11例（12%）、80歳代以上9例（10%）であった（図2）。

図2 新型コロナウイルス感染症症例の性別年代別分布 (n=89<sup>†</sup>)



<sup>†</sup>年代不明の女性1例を除く